



**学校教育目標：未来を切り拓くべく、夢に向かって挑戦し、心豊かでたくましい児童の育成
～すべては子供達のために～**

3年生 リコーダー講習会

5月19日(火)運動会の予行練習の後の4時間目に、3年生を対象としたリコーダー講習会を、専門の講師の先生を招いて実施しました。新しい楽器に触れる喜びと、その難しさを感じながらも、楽しんで講習を受け学びました。また、新たな表現方法を知る機会ともなりました！



津田小の創立を祝う週間 創立記念集会

6月16日(火)の3時間目に、「51年の歴史をもつ津田小学校の津田っ子であることに誇りをもつとともに、自分たちの学校を大切にしようとする気持ちを高める」「学級での話し合い活動や実践を通して、自主的・自発的な活動への意欲を高めるとともに、友達と協力しながら活動することの楽しさを味わう」のねらいのもと、創立記念集会を行いました。昨年度の50周年を基に新たな半世紀への第一歩を歩み出した津田小にとっての新たな節目としての創立記念集会、本市の総合教育会議にもある「シビックプライド」の理念の一端として、母校へ誇りや愛着、共感を持ち、自発的にまちをよくしようとする気持ちの醸造も鑑みての実施です。創立記念日からの1週間、各学年学級が「よりよい津田小」をめざし自治的活動(自分たちが直面する課題や問題に気づき「自分たちのことは自分たちで決める」という方針のもと、計画を立て協力して解決や実行に向けて行動する主体的・実践的な活動)をするということも試みました。より思いを込めた創立記念の祝いの機会となりました。



(個人情報保護の観点から加工してある画像があります。)

津田小の沿革について

1976(昭和51)年4月1日に、当時の勝田市内で12番目の小学校として誕生しました。開校時の児童数は686名、教職員数は29名だったそうです。そして、当時の津田二区が学区となり、約1,400戸の世帯があったそうです。同年6月16日に開校記念式典と開校記念運動会が開催され、同日を創立記念日と決めました。そして12月6日に校章が制定されました。翌1977(昭和52)年3月15日には、津田の子像の序幕がありました。

体育館は翌年度開校2年目の1977(昭和52)年5月11日に落成し、追って1978(昭和53)年6月15日に創立三周年記念の校歌発表会が開催されました。正式には1979(昭和54)年2月28日が校歌制定との記録があります。(作詞:長須正文氏、作曲:柳橋久氏)なお、校歌は募集で決めたとの記録もあります。



校章 秋山 清秀 氏
(1976(昭和51)年12月6日制定)
大自然の中で、素直にすくすく伸び、大地に根をおろす雄大な姿の「イチョウ」にあやかり、将来の本校の児童の成長、発展を望み、シンボルとした。また、「児童・父母・教師」を「イチョウ」の三葉にたくし、「津田小」を三者の「和」でささえ、もりたてていく姿をあらわしている。また、中間の三つの空間は、勝田市の花「ツツジ」の葉をあらわし、「知・徳・体」の調和のとれた教育を意味している。・・・との解説が記されています。



(開校当時の津田小学校)

津田の子像
(制作者 篠原 洋氏)



ひたちなか市立津田小学校校歌

元気よく ♪ = 104位

作詞 長須 正文
作曲 柳橋 久



三、二、一、
伸あ青希進芽清明力白
び心空望しよ進ぐらるるの
ゆとから高しいうでむらな
く世界だくわれら
の
津築たくそ大津助あは学美呼
田築こうまよいいち小けふず田ばしくんで
小こうまよいいち小けふず田ばしくんで
校ようまよいいち小けふず田ばしくんで
校ようまよいいち小けふず田ばしくんで

ひたちなか市立津田小学校校歌
作詞 長須 正文
作曲 柳橋 久